

# 発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度(令和5年度)で10回目となります。

中国四国農政局管内では161件の応募があり、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として7地区と2名が選定されました。

また、中国四国農政局では、応募のあった地区(者)の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として12地区と1名を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を、「奨励賞」として23地区と1名を選定しました。

さらに、今回は「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」が平成26年から始まり、第10回を迎えた記念として、過去に選定された優良事例の中から、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例を募り、18地区と4名の応募がありました。

今年度、応募のあった地区(者)の事例について、その地域の「農山漁村(むら)の宝」として広く発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、県別の事例集を作成しました。

各地域において参考にさせていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>

令和6年3月

中国四国農政局農村振興部都市農村交流課



# 目次

|   |   |
|---|---|
| ○ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」全国選定 及び<br>中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」<br>の取組概要 ..... | 1 |
| ○ 応募地区一覧 .....  | 5 |
| ○ 応募地区位置図 .....   | 6 |
| ○ 応募地区の取組事例 .....   | 7 |

# 第10回ディスカバー農山漁村(むら)の宝 全国選定



島根県大田市

大田商工会議所

グランプリ

- ★漁獲高の大半が県外に出荷され、市内でほとんど消費されない大田市産あなごの大きさと美味しさに着目して、10年間で14%の人口減少が進む大田市の活性化を目指し、「大田の大あなご」の名称でブランド化に取り組む。
- ★大きくなるにつれて脂質が増え旨味成分が増していることをデジタル検証によって確認。観光DMOや飲食店等を巻き込んで協議会を形成し、料理コンテストの開催や出前授業を通じて大あなごの魅力を継続して発信。



行列ができる飲食店のあなご天井と漁業者

島根県大田市

笠木 真衣

優秀賞

- ★平成22年から羊毛加工の技術を学び、平成28年に創業。平成30年に島根県大田市に移住して、ヒツジの飼育を開始。飼養のノウハウを蓄積しながら自家羊毛製品を開発。
- ★農地(5反)を取得し米を作り、羊のフンや敷藁を堆肥化して活用。生産した米は「ヒツジ米」として販売。羊の放牧による除草や、自治会と共同で毛刈イベントを開催。



糸紡ぎのようす

ヒツジの放牧風景

高知県大月町

大月町備長炭生産組合

優秀賞

特別賞

- ★地域に自然分布するウバメガシから備長炭を生産。貴重な資源であるウバメガシを将来に残すため、循環利用可能な山づくりや苗木づくり、植樹祭等の人と自然の共生社会づくりを実施。
- ★地元小中高生への森林環境教育の継続的な開催のほか、育成した苗木を町有林に植栽することで資源循環利用による持続的産業を実現。



植樹祭

小学校での「製炭学習」

広島県神石高原町

株式会社BINGO

特別賞

- ★有害駆除される猪の9割が埋却されるなど、捕獲後の処理が課題となっていた地域で2箇所の処理施設を新設。止め差し・搬出・行政への報奨金申請まで一貫して対応し高齢狩猟者の負担軽減、若手狩猟者の獲得及び命を有効活用する取組。
- ★個体判別により食肉用とペットフード用に分けることで顧客満足度を向上させ、地域のジビエ肉のブランド化やペットフードの輸出も視野に入れるなど活動を拡大。



処理された猪肉

ペットフード  
プロモーション活動

愛媛県伊方町

朝日共販株式会社

特別賞

- ★フェリー乗客の集客やイベント開催で、地元の一次産品を発信する地域活性化活動、大学生と共同し、しらすを有効活用した新商品開発の他、輸出拡大に向けた取組を実施。
- ★バイオプラスチックトレーへの切替えや地元漁協・ダイビングスクールと連携した藻場礁の設置実験等の環境保全活動、子どもたちへの食育活動を実施。



しらす漁

藻場礁設置

高知県黒潮町

特定非営利活動法人  
NPO砂浜美術館

特別賞

- ★4kmの砂浜を美術館に見立て、四季折々のアートイベントを開催。町外からの運営ボランティアの宿泊と食事は、中山間地域にある集落活動センターと連携し、地元住民と交流。
- ★砂浜に隣接したスポーツ施設を活用して合宿や大会を開催し、宿泊・弁当等を手配。また、南海トラフ巨大地震の津波予測をきっかけに防災学習プログラムを開発し、主に中高生の教育旅行を受け入れを実施。



Tシャツアート展

海の脅威と恵みを学ぶ  
防災学習プログラム

岡山県玉野市  
富永 邦彦

- ★ECサイトやSNSを活用して消費者から事前に注文を受けて、必要な魚だけを得る国内初の「完全受注漁」を実施。
- ★水産資源の乱獲、価格の不安定性、漁師の過労問題、後継者不足問題といった、現在の漁業の課題解消に取り組む。



国内初の「完全受注漁」に取り組む富永夫妻



鮮魚セットを作っている様子

広島県三原市  
株式会社八天堂ファーム(八天堂ぶどう園)

- ★オーナー不在のぶどう園を、リカレント教育受講を通じて関係構築した社会福祉法人と共に引き継ぎ運営。農福連携で生産した果実を加工し付加価値をつけて販売することで収益性を高めるとともに、サステナブルな商工農福連携活動を実施。
- ★収穫したぶどうの規格外品をジャム加工しパンを販売する他、農福連携事業者から苺を調達して新たなブランド化を行うなどの取組も実施。



オーナー不在の竹原市のぶどう園を再生 令和5年 新ブランド「果実なくリーむパン」



広島県三原市  
広島みはらプリンプロジェクト実行委員会

- ★地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目。「デザート」と「デリカ(惣菜)」の2カテゴリーのプリンを活用した官民連携のまちおこしを実施。
- ★1次生産者等の所得向上や地域内消費の拡大、食の付加価値向上に向けて、広島みはらプリンの認定や催事への出店、販路開拓等を実施。



各催事では約15~20種のプリンを販売



ガイドブック「おでかけプリン」

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定



鳥取県境港市  
さかいみなと中野港漁村市実行委員会

- ★沿岸漁業者(小型底曳網)が中心となり鮮魚を直売。平成25年から令和4年までの間、漁村市を28回開催。現在は年4回毎回1500人前後が来場。消費者と直接言葉を交わして魚の特徴、調理方法を伝え、効果的に魚食を普及。仲買と連携し、ふるさと納税返礼品としても提供。
- ★地元高校が市を課題研究の場とし、市の運営に協力。地元水産関係企業へ就職する生徒も。園児には売り場見学やタッチングプール等の食育も実施。



大盛況の中野港漁村市



高校生が未就学児に境港サーモンを見せる

島根県安来市  
シバザクラの会

- ★永田集落農地・水保全管理活動組織を中心に行ってきた棚田のシバザクラ植栽活動、農村景観による都市との交流の広域展開、更なる地域活性化のため令和4年度設立。シバザクラ9万本、花桃500本を植栽。
- ★春に「猿隠高原シバザクラ祭り」を開催。SNS等で積極的な情報発信を行い4年度は約4,000人来場。関係人口増と地域活性化に効果。



各スポットにシバザクラ花絨毯と花桃が満開に



「シバザクラの里猿隠高原比田米®」販売中!

岡山県備前市  
一般社団法人みんなでびぜん

- ★日生町にて漁協、小中高生、消費者等が協力しアマモ場を再生。アマモ場や再生活動を海洋教育の土台とし、地域内外の学校や市民、様々な業種の人々が地域や世代、立場を超え共に取り組む。
- ★海洋プラチックごみも、子どもたちと拾い、どこから流されてくるか一緒に考え、ごみを使ったアート作品を作る。令和4年度の海洋教育と体験の参加者数は2,532人。



アマモ流れ藻回収



小学生による海ゴミの回収

広島県尾道市

## カンキツスタンドオレンジ

- ★様々な柑橘が生産されている瀬戸田地区が抱える、生産者の高齢化、柑橘加工品の販売先確保等の課題解決の取組。
- ★地元の株式会社Stapleが令和4年7月から瀬戸田の柑橘を専門に扱うジューススタンドをJR尾道駅1階に開業。農家と直接取引を行い現在23種類の柑橘ジュースを販売。令和4年度売上は10,800千円。
- ★取引生産者は3軒から10軒まで増加。店舗販売以外に広島市内や都内でのイベントに積極的に出店し、瀬戸田の柑橘をPR。



店舗で販売をしているジュース・かき氷



瀬戸田の柑橘農家と共同開催したジュースの試飲会

山口県岩国市

## 株式会社神東ファーム

- ★平成30年、神東地域振興協議会が地域おこし協力隊員とレモン栽培を構想中「後発組は希少価値の高い新品目で勝負」とマイヤーレモンを選択。
- ★栽培方法を習得後、同協議会の部会「レモンの会」を発足し、借り受けた耕作放棄地を開墾。行政の支援で(株)神東ファームを設立。
- ★地元銀行等の支援を受け、地元大手スーパーや老舗旅館など県内販路が定着。果汁100%の「そのまんまのマイヤーレモン」も今年から販売し千数百本が完売。令和4年度の収穫量は7t、売上は3,400千円。



11月頃のマイヤーレモン



小学生の農業学習

徳島県 三好市 美馬市 美馬郡つるぎ町 三好郡東みよし町

## 一般社団法人 そらの郷

- ★世界農業遺産認定「にし阿波の傾斜地農耕システム」による農山村のサステナブルな暮らしを体験する観光で、観光客増による所得向上、新たな雇用創出等地域活性化に取り組む。
- ★体験型教育旅行として、都市部中学生・高校生の受入家庭での農作業体験、収穫物の共同調理など農泊体験を商品化。
- ★農山村散策や農家での餅つきなどを組み込んだツアーによるインバウンド誘致が、「桃源郷」と称される農山村の風景や文化、地元農業者等のホスピタリティの面で高く評価されている。



伝統的な農作業ツチアゲ体験



地元農家との交流(餅つき体験)

徳島県鳴門市

## 株式会社本家松浦酒造場

- ★酒造会社が県内の様々な関係者と連携して行う取組。
- ★平成元年から原料を全て徳島県産にした日本酒の製造や平成24年から徳島県上勝町の棚田米を使用した日本酒、ゆこう使用のリキュールの製造の取組を通じ、生産者と連携。近隣の醤油蔵と連携した見学会を実施。令和4年度は直売所来場者15,876人、売上は26,000千円。輸出にも取り組む。
- ★大阪国際万博等のインバウンド需要を見据え、YouTubeなどで酒蔵地域周辺を案内する多言語化動画の配信やHPを作成。



酒蔵でのイベント開催



棚田米やゆこうを使った酒造り

香川県さぬき市 一般社団法人さぬき市津田地区  
まちづくり協議会

- ★津田地区の海辺を中心としたエリアリノベーションと農泊の推進。
- ★使わなくなった漁業倉庫や空き家への新規出店希望者の誘致、移住者支援を実施。令和4年に市と連携し地域おこし協力隊制度を活用した新規出店(ピザ店)をきっかけに出店増加。応募時点で4店が開店し今後も開店予定。
- ★地域おこし協力隊募集の際、採用者以外の応募者も協議会等がサポートし、家族を含む9名が市内に移住。



PORTO PIZZA



空き家DIYの様子

愛媛県西条市

## 愛媛県立丹原高等学校 草花班

- ★地域を花木の一大産地とするため産官学民が連携し、苗の生産技術を確認する取組で、苗生産が不安定な品目の穂木～発根～出荷のプロセス構築の研究を同校が担当。
- ★同校の菊栽培技術を応用し平均19%の発根率が62%と有効性を確認。挿し穂の直径や挿し木時期による違い、地元JAと連携した生育環境での違いも調査。農家に還元可能な技術として成果は県東予地方局の「花木栽培マニュアル」に掲載され普及。地域では花木を主とした新規就農者も誕生。そのほか花木のPR活動も実施。



花木のPR活動



産官学民連携プロジェクト成果発表

愛媛県宇和島市

## 企業組合津島あぐり工房「あすも」

- ★平成15年創業。地域の豊かな農水産物の加工品・惣菜など製造販売。地域農産物の需要拡大と、地域経済活性化による成長持続型活動を展開。
- ★平成24年「企業組合津島あぐり工房」として法人化。農家レストラン「あすも」をオープン。令和4年度の売上は42,000千円。スタッフが創業当初の4人から9人に増え、令和4年から廃校活用の新店舗に移転。
- ★平成30年西日本豪雨災害の教訓で始めた月一回の「ふれあいモーニング」は1日100人以上が来店。地域コミュニティの場に。



人と食、人と地域、食と地域をつなぐ活動一覧



廃校教室を活用した農家レストラン部門「あすも」

高知県香南市

## 井上ワイナリー株式会社

- ★高知の気候・風土に適したブドウ品種を選び、県内各地の生産者と一緒に栽培。県内各地の様々な料理と合うワインを醸造し高知の新しい食文化を提唱。
- ★平成24年に南国市で定植以来、栽培を5市町に拡大。耕作放棄地も再生。地元の老人クラブや高校生に収穫やラベル作りの手伝いを依頼。
- ★令和3年に自社醸造を開始、令和4年にショップを併設。ワインの試飲・販売、地域食材使用のグロスリー商品等販売。売上は令和4年度61,822千円。



地域の方々と共に収穫作業



地元高知産ブドウを使用したワイン

高知県津野町

## 農村交流施設「森の巣箱」運営委員会

- ★住民の声をきっかけに、廃校となった旧小・中学校の校舎を活用し平成15年に設立した「森の巣箱」は、集落コンビニ、居酒屋、宿泊施設を備えた複合交流施設。
- ★安定経営のため、運営費用は各世帯の出資金、世帯毎に毎月「購買協定」を締結。宿泊施設で得た外貨も活用した、補助金に頼らない運営。施設職員(常勤1名、パート1名)以外住民も役割分担。
- ★イベント開催や修学旅行生受入も実施。令和4年度の売上は、コンビニ1,636千円、居酒屋1,282千円、宿泊施設3,039千円。



集落コンビニ



居酒屋

徳島県阿波市

## 寺井 稔

- ★平成24年に発足した阿波市の農業後継者グループ「GOTTSO阿波」の中心メンバーとして活動。
- ★農業や野菜の魅力発信、所得向上や農業人口増加を目指した活動、野菜の出張販売や広報を行い、地域のナスをブランド化。ナス好きの子供を増やそうと地元幼稚園や小学校で食育実施。
- ★グローバルGAP等を取得し2020東京オリ・パラの選手村へブランドナスを納品。それをきっかけに輸出、新たなブランド野菜育成に努める。



コロナ禍が明け試食販売を再開



食育の授業

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第10回選定) 応募地区(者) 一覧 (山口県)

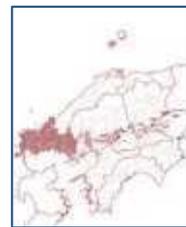
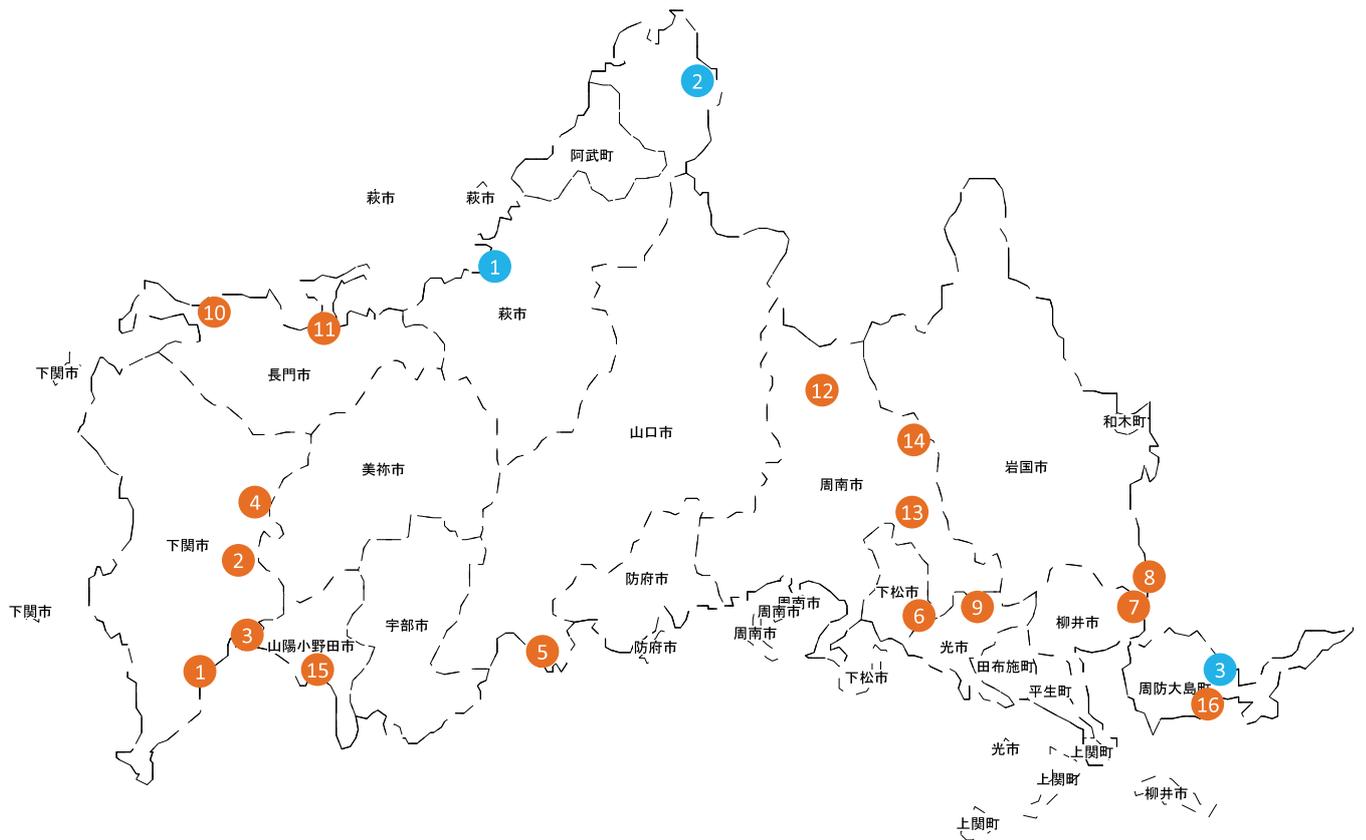
| No. | 選定地区  | 部門 | 市町村    | 地区名/氏名                         | 該当する取り組み     |        |               |
|-----|---|----|--------|--------------------------------|--------------|--------|---------------|
| ①   | 奨励賞   | 団体 | 下関市    | 王司干潟改良グループ                     | 水産業振興        | 環境保全   | 食育・教育         |
| ②   |   | 団体 | 下関市    | 上保木集落協定                        | 鳥獣被害防止       | 農村環境   | 景観保全          |
| ③   |   | 団体 | 下関市    | JA王喜タケノコ部会                     | 林業<br>農村文化体験 | 地産地消   | 食育・教育         |
| ④   | 奨励賞   | 団体 | 下関市    | 下関市豊田地域広域協定運営委員会               | 農村環境         | 環境保全   | —             |
| ⑤   |   | 団体 | 山口市    | 株式会社木原製作所                      | 6次産業化        | 企業との連携 | 教育機関との連携      |
| ⑥   |   | 団体 | 下松市    | 農事組合法人 21世紀フラワーファーム            | 6次産業化        | 食育・教育  | 女性の活躍         |
| ⑦   |  | 団体 | 岩国市    | 株式会社 神東ファーム                    | 荒廃農地対策       | 環境保全   | 教育機関との連携      |
| ⑧   |   | 団体 | 岩国市    | 株式会社 デナリファーム                   | 農業           | 農福連携   | 荒廃農地対策        |
| ⑨   |   | 団体 | 光市     | 農事組合法人つかり                      | 6次産業化        | 企業との連携 | 地域との連携        |
| ⑩   |   | 団体 | 長門市    | 特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会            | 6次産業化        | 棚田保全   | 農村環境・<br>景観保全 |
| ⑪   | 奨励賞   | 団体 | 長門市    | 三隅林業研究グループ ×<br>長門やきとり横丁連絡協議会  | 里山再生         | 森林再生   | 農商連携          |
| ⑫   | 奨励賞   | 団体 | 周南市    | 株式会社 かの高原開発                    | 6次産業化        | 伝統の継承  | 雇用            |
| ⑬   |   | 団体 | 周南市    | 棚田清流の会                         | 棚田保全         | 農村文化体験 | 関係人口の創出       |
| ⑭   |   | 団体 | 周南市    | 有限会社福田フルーツパーク                  | 6次産業化        | 食育・教育  | 農村環境・<br>景観保全 |
| ⑮   | 奨励賞   | 個人 | 山陽小野田市 | 伊藤 徹一郎<br>(株式会社アグリーフプラス 代表取締役) | 6次産業化        | 地産地消   | 環境保全          |
| ⑯   | 奨励賞   | 団体 | 周防大島町  | 山口県立 周防大島高等学校                  | 学生・若者の活躍     | 環境保全   | 企業との連携        |

### 第10回記念賞応募地区

| No. | 部門 | 市町村   | 地区名             | 過去の選定実績                 |
|-----|----|-------|-----------------|-------------------------|
| ①   | 団体 | 萩市    | ふるさと萩食品協同組合     | 平成26年度(第1回)選定           |
| ②   | 団体 | 萩市    | 社会福祉法人E.G.F     | 平成27年度(第2回)選定 (プロデュース賞) |
| ③   | 団体 | 周防大島町 | 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン | 平成30年度(第5回)選定           |

# 応募地区（者）位置図（山口県）

※ 青は第10回記念賞応募地区



奨励賞

おおじひがたかいりょう

## 王司干潟改良グループ

～地域と共に歩む！～



干潟の復興作業 竹立て



地元小学校でツメタ貝について授業

## 経緯

- 千鳥浜(ちどりはま)は、全国でも有数(山口県最大)の干潟である。江戸時代には塩田、昭和の中ごろまでは海苔の生産で繁栄していた。海や干潟という「宝」を子や孫に引き継ぎたいと、誰もが望んでいた。
- 平成21年(2009年)、運営委員長の呼びかけで干潟の復興を目指して干潟改良グループが結成され、活動を開始した。

## 取組内容

- 王司干潟の復興作業
  - ・アサリの放流
  - ・稚貝等の付着のための竹立て
- 地元小学校との連携
  - ・全校児童参加の海浜学習への協力
  - ・5年生の総合的な学習で  
出前授業や現地でのツメタ貝の駆除
- 乃木浜公園の清掃活動
- SNSを活用した情報発信
  - ・「まちづくり」のために



「王司まちづくり」のFacebook

## 活動の効果

- アサリ等がほとんど獲れなくなった現在、一昔前のような魚介類がたくさん獲れる干潟に復興しようとアサリの放流や干潟への竹立て等の活動している。
- 小学校との連携をすすめている。ツメタ貝の駆除は地元の小学校5年生の総合的な学習の題材となっている。この活動はメディアでもたびたび取り上げられている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

干潟の復興作業はもちろん、維新海峡ウォークや神田川まつりでの出店・婦人部の乃木浜総合公園の清掃活動を「まちづくり」のための取組としている。「海や干潟のよさ」を知らせるだけではなく、「まちのよさ」として捉えられるように今後も活動を継続していきたい。

## 住所・電話番号・SNS等

下関市王司本町6丁目2-28 Tel:083-248-0711

かみほぎしゅうらくきょうてい  
上保木集落協定

～多様な農業経営体が連携して地域農業を守る～



作業前のミーティング



景観作物で植栽したコスモス周辺の草刈り

## 経緯

- 平成24年度に中山間地域等直接支制度の知事特認地域に追加されたことをきっかけに取組を開始した。
- 高齢化による農業者の減少が進む中、個人農業者の他、地域で営農する農業法人等、多様な農業経営体が協力し、集落機能の強化及び耕作放棄地の発生防止を図ることとした。

## 取組内容

- 農村環境・景観保全日本型直接支払（中山間・多面）を活用し、地域内の農道や水路の保全活動をはじめ、コスモスの植え付け等地域の景観向上に取り組んでいる。
- 鳥獣被害防止  
シカやイノシシ等による鳥獣被害多発地域のため、交付金を活用し防護柵の設置や箱わなによる捕獲等に取り組んでいる。

## 活動の効果

- 草刈や水路の管理、鳥獣被害対策等、農業者なら当たり前の取り組みであるが、地域で協力しながら継続をしてきた。高齢化等により個人での管理が難しくなった農地は、農業法人等の担い手が受け入れる等、耕作放棄地を発生させない活動に取り組めた。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

農村地域の景観が保たれているのは、多面や中山間直払に取り組む全国の活動組織・協定の日々の地道な活動の結果だ。農村地域に訪れた際は、美しい風景の背後には頑張る人たちがいることを少しでも思い出していただくと幸いである。

## 住所・電話番号・SNS等

下関市菊川町大字下岡枝1480-1 Tel:083-287-4008(下関市菊川総合支所建設農林課)

じえい えい おおき

ぶかい

## JA王喜タケノコ部会

## ～王喜タケノコのブランド復活！～



増えた会員や協力者



観光たけのこ園

## 経緯

○戦前「松屋タケノコ」というブランドとして知られ、地元JAに「王喜タケノコ部会」も設立されたが、安価な輸入筍の増加により、筍生産のビジネスが成り立たないため、高齢化もあり会員が4名と減少していた。山口県は日本で4番目に竹林が多い県であるため、「筍は何もしなくても生えてくる」「筍はもらうもの」という消費者意識がある。さらにコロナ禍によりタケノコの消費が落ち込んだ。

## 取組内容

- 高品質筍生産の指導  
生産者の確保や所得向上のため地区内外で生産の講師を務めた。
- 観光タケノコ園の運営  
放置竹林発生防止や、都市住民との交流による関係人口創出のため、ゲーミフィケーションの考えを取り入れた体験イベントを実施。
- 外国人の竹林整備体験の受入  
筍や日本の情景をPR。

## 活動の効果

- 4名まで減少していた部会員数が、高品質筍生産の指導をした結果、筍生産者が2名増え、地域活性化や集落の所得向上に寄与。
- 過酷な筍生産に関係する作業を、観光タケノコ園で楽しめる体験とすることで、都市住民の参加が増え、関係人口を創出。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

会員数が減り放棄竹林が目立ってきたことから、放棄竹林対策として始めた都市住民が参加できる体験プログラム等の新しい取り組みを始めたことを契機に、若者2名が会員として加入するなど、新しい風が吹いている。

住所・電話番号・SNS等

下関市松屋上町3-1745 Tel:083-282-4074

奨励賞

しものせきしとよたちいきこういききょうていうんえいいんかい

## 下関市豊田地域広域協定運営委員会

～100年後も豊かな環境を地域一丸で守る！～



地域の代表者による検討会



農道沿いのシバザクラの手入れ

## 経緯

○基盤整備完了後、土地改良区等を中心に施設の維持管理を行っていたが、農業者の減少や高齢化等により、持続的に施設を維持管理することが困難となっていた。平成19年度から始まった「農地・水・環境保全向上対策」等を活用し、「多面的機能支払交付金」に移行後も継続して各集落で地域の共同活動に取り組んできたが、更なる活動発展のため令和元年度に土地改良区が中心となり、旧町全域での広域活動組織を設立した。

## 取組内容

○各支部代表者と事務局である土地改良区で構成する広域協定運営委員会では、広域協定全体に係る運営方針の決定、事務処理を実施。多面的機能支払交付金の煩雑な事務を事務局（土地改良区）が引き受け、各班が共同活動に専念できる活動体制を構築。

○「ホタルといで湯の里」として知られる地域であることから、ホタルの生息環境に配慮した営農活動（水田からの川への濁水流出防止）に取り組むとともに、農道沿いでシバザクラの植栽などの景観形成活動にも取り組む。

## 活動の効果

○農業者が高齢化する中、煩雑な事務作業が負担となり活動継続を断念する集落も出てきていた。そこで、平成31年4月に土地改良区が中心となり3組織（43集落）を広域統合し、旧町全域をカバーする広域活動組織を設立した。事務作業を土地改良区が担うことで各集落は共同活動により専念できるようになった。また、地域計画作成の話合いやため池点検パトロール等、行政と連携した取組も進めやすいという副次効果も生まれている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

本地域においては、ほとんどの農業者が土地改良区の組合員であったことや、旧豊田町はもともと1町1土地改良区で運営していたこと等もあり、地域の代表を集めた広域化に関する話合い等も土地改良区を中心に進めやすい環境であった。実際に旧町全域を区域とする広域活動組織として運営することにより、地域内での情報の共有化や連携強化がこれまで以上に進むとともに、行政と一体となった地域活動にも取り組みやすくなってきていると感じている。

## 住所・電話番号・SNS等

下関市豊田町大字殿敷1918-1 Tel:083-766-2852(下関市豊田町土地改良区)

かぶしきがいしゃきはらせいさくしよ  
株式会社木原製作所

## ～乾物プロジェクト地域振興事例を世界に発信～



グローバル知財戦略フォーラム事例発表



タシケント工科大学事例発表

## 経緯

- 平成22年、山口市が新たな地域産業戦略の構想を開始したことを受け、「乾燥技術」を地域資源として活用し、複数団体とのドライフード商品開発と圏域ブランドの構築を市に提案。
- 平成23年、乾燥食品の開発販売を軸とした国内初の地域振興事業「山口から”Kanbutsu”を発信。」プロジェクトが総務省で採択され、本格的な活動を開始。

## 取組内容

- 企画立案、機器技術提供、試作開発、デザイン、販売方法等のアドバイスや商標登録、イベント等を活用した発表方法等を無償サポートし、商品開発をサポート。
- 令和5年、経済産業省中央アジアミッションに参加しウズベキスタンを訪問。農業省、投資貿易省等に事例発表。同年4月タシケント工科大学(ウズベキスタン)の国際会議にて廃棄物の収益化事例の発表・論文掲載。

## 活動の効果

- 平成24年に、農林水産大臣から機械メーカーでは全国初となる「ボランタリープランナー」任命。
- テレビ、新聞、ラジオ等の各メディアで多数紹介され、商品売上と地域PRに貢献し、海外政府機関からも注目を集める。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

1次産業の高付加価値化がより深刻な課題となっている海外に対し、課題解決の事例として情報発信に努め、コロナ禍収束後には日本国内のインバウンドやSDGs「飢餓をゼロに」「持続可能な産業開発」にも貢献できるよう引き続き取り組む。

## 住所・電話番号・SNS等

山口市秋穂西3106-1 Tel:083-984-2211 URL:<https://www.kiharaworks.com/>

のうじくみあいほうじん にじゅういっせいき

## 農事組合法人 21世紀フラワーファーム

～ 安心・安全なものを愛情を込めて作る農園 ～



6次産業で初めて作ったシフォンケーキ



農業体験



親子で愛情込めて

## 経緯

- 昔から農業に興味があり、退職したのを契機に本格的に農業を始め、その後、「若い人にも農業をして欲しい」「農業で安定した収入を得たい」と考え、平成23年に「農事組合法人21世紀フラワーファーム」を設立。
- 自分たちが愛情を込めて作った作物を自身で加工し、販売できる魅力に惹かれ6次産業に取り組み始めた。

## 取組内容

- 安心・安全な物を作る為に、7年前から農園全ての作物を化学肥料なし、農薬不使用で栽培を始めた。
- シフォンケーキやジャムを当農園内の加工所で製造。加工所で製造困難なパイアのドレッシングやうどん、お茶などは、外部委託により製造。
- ブルーベリーの摘み取り体験に加え、下松市の観光を盛り上げたいとの思いから、野菜の収穫体験やジャム作り体験も始めた。

## 活動の効果

- 6次産業化を始めたことにより、ジャムやパイアや茶など、メディアにも取り上げられ、農園の認知度の向上にもつながっている。
- 有機栽培のネット販売の会社と契約を結び、生のブルーベリーや冷凍のブルーベリーを全国に届けられるようになった。
- 農業体験を通して、都市部の子供達等との交流が図られるようになった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

農業は天候に左右されやすいため悪戦苦闘していますが、元気に楽しくやっています。これからも、安心・安全な作物を愛情を込めて作り、子供達にも「農業の大切さ、楽しさ、大変さ」を体験できるような取り組みを進めていきます。

住所・電話番号・SNS等

下松市大字来巻958番地 TEL: 0833-57-4855 URL: <http://www.kvision.ne.jp/~kvn2132651/index.html>



かぶしきがいしゃ しんとう

## 株式会社 神東ファーム

～マイヤーレモンで地域を元気に！～



11月頃のマイヤーレモン



レモン部会メンバー



小学生の農業学習

## 経緯

- 人口減少と高齢化により地域農業が衰退。それに伴い耕作放棄地が拡大し、景観の悪化や災害リスクが増加。
- 平成30年(2018年)、検討の結果、若者が就農できる基盤を作るため、耕作放棄地に希少価値の高い新しい品目の「マイヤーレモン」の栽培を始めた。

## 取組内容

- 地域おこしのため、「レモンの会」を発足し、耕作放棄地を再生。西日本では珍しい「マイヤーレモン」を栽培。
- 「マイヤーレモン」の生果だけでなく、果汁に加工して販売。これらの販路開拓は地元金融機関の協力を得た。
- 将来、地域を担う地元小学生を対象に、農業体験学習を実施。

## 活動の効果

- 耕作放棄地を再生し、「マイヤーレモン」を栽培することで、災害リスクの低減や景観形成に貢献。
- 地域おこしを目指す取組はメディアにも取り上げられ、収益力向上につながり、地域住民のモチベーションがアップ。
- 農業体験学習は、地域や農業の素晴らしさを体験させることで将来を担う人づくりに貢献。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

「マイヤーレモン」はオレンジとの交配種で、酸味がまろやかで料理や飲み物に使える食材として高評価をいただいています。ぜひご賞味ください。

## 住所・電話番号・SNS等

岩国市由宇町神東10619-4 TEL:0827-63-6036

かぶしきがいしゃ

## 株式会社 デナリファーム

～耕作面積拡大に農福連携でシナジーを～



耕作放棄地を再生



障害者就労施設へのコンテナ清掃委託



小学生の課外事業を受入れ

## 経緯

- 以前から農業に興味があった学生時代の友人であり、元海上自衛官だった二人が令和元年設立。
- 農業で生活するのは無理と諦めていたが、「こうやったら農業で生計をたてられるのでは？」と仮説を立てていくうちに意識も変わりチャレンジに踏み切った。

## 取組内容

- 問題を問題で解決する取組  
「農業従事者の減少や耕作放棄地増加の問題」と「雇用の場が少ない、定年の年配者や短時間希望の障がい者」で各問題を解決。
- 地元小学校と農業交流を通じ、食や農業をトータルで体験することによって「将来に夢を持つことの大切さ」を発信。
- 子供食堂への食材提供や苺のシーズンに毎月15日に苺を小学校に差し入れすることで、農業を身近に感じてもらう取組。

## 活動の効果

- 雇用しているスタッフはシフトなしの自由出勤制度で、子育て世代の女性スタッフが中心で、時間の都合がつけやすく、とても働きやすいと好評。
- スタッフと作業管理のノウハウを蓄積し、将来、定年後の年配者や、障がい者雇用につなげる基礎を構築。
- 子供食堂の食材提供、小学校への毎月15日のイチゴの差し入れで農業を身近に感じてもらった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

継続可能な農業経営の確立を目指し、経営理念の、生産と販売共に安定した売上に努力し、スタッフ・家族・お客・取引先・会社の五方良しを目指して取り組む。

住所・電話番号・SNS等

岩国市由宇町神東1330番地2 Tel: 0827-93-4037

のうじくみあいほうじん  
農事組合法人つかり

～特産品の開発で自慢のイチゴと地域をPR～



イチゴの生産現場を見学



試飲モニタリング



商品発売イベントで中学生に感謝状贈呈

### 経緯

- 平成14年に、水稻・大豆栽培を主として法人を設立。
- 法人経営の安定化や地域の特産品を作ろうと、平成26年にいちご栽培を開始。
- いちごを主として地域経済の活性化を目標に、6次産業化の推進による地域雇用の創出と「地域を盛り上げたい」という思いから、いちごを活用した特産品の開発をスタート。

### 取組内容

- 贈答用として販売しているいちごのうち、規格外のいちごを同法人が運営する「ツカリベリーズ」(スイーツショップ)で使用し、ケーキやパフェなどの加工品として販売。
- 地元事業者の特色を生かした、地域や地元中学生との連携による、新しい特産品を開発。

### 活動の効果

- 新たに開発した「光のいちごと甘酒」のパッケージデザイン案を地元中学校の生徒に依頼し、市内デザイナーが仕上げるなど、地域が一丸となって取り組む。
- 新たな商品の製造・販売により、新聞などで取り上げられ、地域の知名度向上につながり売上げが向上し、地域経済への活性化に貢献。
- 地元中学生は、地域産業を知るきっかけとなり、地域事業者と交流する機会ができたなど、地域への関心・愛着の向上につながる。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

光セレクション・周南ものづくりブランドに認定された「光のいちごと甘酒」を、光市の新たな特産品として全国に発信することで、自慢のいちごをもっと広め、地域農業の振興を図り、活力に満ちた魅力あふれる地域社会の実現を目指します。

住所・電話番号・SNS等



光市大字東荷2463番地3 TEL : 0820-48-2511 ツカリベリーズ URL : <https://www.facebook.com/tsukariberrys.hikari/>

とくていひえいりかつどうほうじん

たなだけいかんほぞんかい

## 特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会

～ときめく棚田大作戦！～



棚田の再生農地にハーブを植付



放棄された棚田を活用し遊び場を整備



夕涼み棚田マルシェ

## 経緯

- 棚田地域では、高齢化・過疎化の進行により、耕作放棄地が増え棚田景観の維持・保全が困難となるなか、長門市棚田保護条例が制定され、地域での6次産業化やグリーンツーリズムへの気運の高まりをきっかけに保存会を設立。
- 棚田保全計画を策定し、棚田景観の保全・継承に取り組んでいる。

## 取組内容

- 「ときめく棚田大作戦」と称し棚田再生プロジェクトを実行中。棚田にハーブや花を植付け、景観保全と6次産業化や鳥獣害対策など活用方法を模索。
- 棚田広場の遊び場設置(単管キューブ・ハンモック)やフォトジェニックの演出、農産物の供給促進のため、棚田マルシェを開催。

## 活動の効果

- 棚田や地域資源を活用したイベント(棚田マルシェ)を行い、交流人口や交流事業が増え、新しい棚田としての付加価値が付いてきた。
- これまでの取組により、クルージングバスツアーの受入が始まるなど、さらなる交流人口の増加が見込め、地域の活性化につながる。
- ハーブによる6次産業化で、新しいハーブの栽培と栽培面積の拡大を行う。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

棚田の花段に「ダイナミックドッグラン」がオープンしました。棚田へハーブ等を入植し、美しい景観を守りながら交流人口の増加に繋がるよう、カフェや雑貨店等の事業を展開し、ICTを活用した顧客獲得や情報発信に取り組むなど、棚田再生プロジェクト「ときめく棚田大作戦」に引き続き挑戦します。

## 住所・電話番号・SNS等

長門市油谷後畑1766番地 TEL：事務局 0837-32-2056 URL：http://yuya-tanada.com/



## みすみすみ～コラボでSDGsに挑戦～



森林環境教育：製炭体験



灰の有効利用(大学生との協働)

## 経緯

○炭の需要低迷、輸入量増加により、農山村では、製炭が行われなくなり、薪炭用の里山が荒れた。都市では、飲食業（焼き鳥）で良質な炭の入手が困難となった。

コロナ禍の影響で、安心・安全の提供や都市と農山村の繋がりの重要性が高まるなか、「長門市を盛り上げたい」との想いと一致し、協働で製炭を始めた。

## 取組内容

- 令和2年度から作業道を修復し、荒れた里山の整備を行い、炭を焼き鳥店へ納品。
- 本取組をマスメディア等で情報発信に努め、地元の炭を使う意義を紹介。
- 地域資源の循環利用をSDGs学習として都市住民や地元中学生を対象に体験会を開催。
- 地元漁協や大学生と連携し、廃棄される漁網を活用した鳥獣被害対策を行う。

## 活動の効果

- 森林整備・炭焼き→焼き鳥→灰の活用という地域資源の循環利用を実現。
- SDGsの取り組みを追究することで経済活動に繋がる可能性を示す。
- 事業規模の拡大を目指すため、若者移住者1名が新たに炭焼きを開始。品質・生産性向上のため、炭窯を新たに築窯した。
- 藍染め作家より、「灰を藍染めに使用したい」と申し出があり灰を提供する。文化的分野においても貢献。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

三隅地区で製炭し使用後の灰を循環利用することから、回文となる「みすみすみ」とネーミング。今後も地域資源と循環利用の意義を広く周知していきたい。

## 住所・電話番号・SNS等

長門市東深川332-79 Tel:0837-22-3123

奨励賞

かぶしきがいしや こうげんかいはつ  
株式会社 かの高原開発

～特産品開発で地域と共に未来の宝づくり～



社員等で茶摘みし、自社で加工



福祉施設でのパック作業



鹿野和紅茶 なごみ 完成

## 経緯

- 平成8年、鹿野地区の観光の興隆・地域の活性化のため周南市の第三セクターとして設立。
- 平成27年から、歴史あるお茶文化の再興と新たな特産品開発を目指した活動を開始。
- 平成30年から、周南市共創プロジェクトで地域高齢者と障がい者就労支援施設と連携し、和紅茶づくりを開始。

## 取組内容

- 伝統の継承：鹿野のお茶は、室町時からの歴史があり、現在も庭先等に自生。手摘みされた茶葉を「鹿野和紅茶」に加工。
- 高齢者介護予防：高齢者が自宅で摘んだ茶葉をサロンに届けることで外出を促進。
- 農福連携：周南市、(福)鹿野福祉会・ふれあい作業所「鹿音」と連携し、鹿野和紅茶のティーバックを製造。

## 活動の効果

- 鹿野和紅茶により、お茶文化の復興や、鹿野地域の経済の循環と共に鹿野茶を見直すきっかけになった。
- 鹿野地域の高齢者が自宅近所等の茶葉を摘んで、石船温泉憩の家のサロンに届けることで、高齢者の介護予防と外出を促すことができた。
- 農福連携による鹿野和紅茶のティーバック製造で、障がい者雇用の拡大や生きがいづくりの創出につながり、鹿野和紅茶は周南市の農福連携商品として、ふるさと納税返礼品に選定された。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

鹿野地域に眠る茶の木を呼び起こし、地域の人々と新たなお茶文化の歴史を創れるよう、地域固有のお茶文化の復興と次世代への継承を目指し、中山間地域の産業発展と雇用拡大へ繋げるため、販路をもっと拡大し山口県の特産品となるよう目指します。

住所・電話番号・SNS等

周南市大字鹿野上3516 TEL: 0834-68-1234

URL: <https://kanokougen.com>

たなだせいりゅう かい  
**棚田清流の会**

～ くらしがいをみつけられる郷づくり ～



農業体験交流会



中学生職場体験



フォトコンテスト

**経緯**

- 平成12年に集落点検を行い、予想以上に高齢者単独世帯や荒廃農地が増加しており、将来への危機感が高まったことから、将来の地域ビジョン「やすらぎの里づくり憲章」を策定。自治会で解決できない共通の課題に取り組めるよう、平成13年に全住民を会員とする「棚田清流の会」を発足。
- 平成23年に地域の行動計画「夢プラン」を策定し、持続可能な地域づくりを展開。

**取組内容**

- 農地・景観の保全：地域住民で休耕田の草刈りや、県道沿いの休耕田に花を植えた美化活動を実施。
- 都市部及び地域住民との交流：中学生の職場体験受け入れによる稲刈り作業体験や、フォトコンテスト等を開催。
- 地域製品の加工・販売：弁当・お菓子等マルシェで販売。

**活動の効果**

- 「つなぐ棚田遺産」の認定により知名度も上がり、またコロナが落ち着き、都市部からの農業体験等の受け入れや、イベントを本格的に再開し、地域の魅力を感じてもらえる活動を積極的に行ったことにより、農業体験交流会の参加者数は、過去最多となるなど、地域住民の絆がより一層深まった。
- 参加者自らがアイデアを出し、行動できる雰囲気・体制を作り出すことで、「活動に参加して楽しかった」という充実感が得られ地域を守る意思の浸透に繋がった。

**応募団体からのアピール・メッセージ**

会結成から20年が経過し、2代目の会長に引き継がれました。この地域に興味を持ってもらえる人が増えるよう、様々な手法で地域をアピールし、新たな世代を迎え入れることで、今後新たな挑戦を行っていきます。

住所・電話番号・SNS等

周南市大字中須北784

<https://ja-jp.facebook.com/seiryuunokai/>



ゆうげんがいしゃ ふくだ  
有限会社福田フルーツパーク

～ 明るく 楽しく 美しく、安全な農業を目指して ～



農薬使用量20%削減した、ぶどうの観光農園



各種自然体験や外国人の受け入れ

### 経緯

- 山口県周南市の北部に位置する須金地区は、ぶどう・梨の産地であり、40年以上続く観光農園が団地化(16戸)し、秋には県内外からの観光客で賑わいを見せている。
- 平成22年(2010年)、現代表に経営移譲したことを契機に、消費者ニーズや時代の変化に柔軟に対応できるよう様々な取組を開始。

### 取組内容

- 平成18年(2006年)から夏休みの自然体験宿泊イベント「いなかの学校」を実施。2日～3日の期間で小学生約30人を受入。
- 平成21年(2009年)からNGO団体「WWOOF」を通じ、世界中から外国人農業体験の受け入れを実施している。
- 平成23年(2011年)から自然とふれあうことを目的に、森のアーチェリー、ツリークライミングを開始。
- 平成27年(2015年)からバーベキューの飲食営業を開始し、最大1日150人を受入。

### 活動の効果

- エンターテインメントな観光農園を目指し、地域資源の発掘及び情報発信を率先して行ってきた結果、自然体験やバーベキューを目的とした来訪者が年々増加し、都市農村交流と須金地区の活性化につながっている。
- 地域全体の魅力を向上したことから、新規就農者も増加し、16農園の園主の平均年齢は40歳代となり、観光農園の経営承継も順調に進んでいる。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

エンターテインメントな観光農園を目指し、夜間のライトアップや宿泊設備の拡大など、ナイトタイムツーリズムの充実を図っていき、隣接する観光農園との連携強化やイチゴ栽培などの新たな産地形成、肥料・農薬低減にも取り組み、安全・安心な果物を提供していきます。

住所・電話番号・SNS等

周南市須万2780番地 TEL : 0834-86-2138

URL : <https://www.fukuda-fp.com/>



奨励賞

かぶしきがいしゃ

株式会社アグリーフプラス

だいひょうとりしまりやく

代表取締役

いとう てついちろう

伊藤徹一郎

## ～6次産業と地域財産が導く次世代の産業展望～



冷凍野菜製造工場



販売商品：離乳食用冷凍野菜ペースト

## 経緯

- 平成22年(2010年)都道府県知事認定「エコファーマー」を取得し、出荷量を増加させ売上が向上したが、コロナ禍で卸出荷が激減し廃棄増や赤字に陥る状況となった。今まで取り組んでいた系統出荷の限界を超え、自社の真の価値に合った販売構築とフードロス削減、地域資源活用を実現する取組を実施。

## 取組内容

- 瀬戸内海に面したミネラル豊富な土壌で有機野菜を栽培。収穫した野菜を3D急速冷凍機で野菜冷凍を可能にし、冷凍野菜自動販売機を大学に設置。Z世代へ安全で美味しい冷凍野菜を提供して商品レビューや宣伝効果を得る。
- 主婦従業員で実施体制を整え、情報発信の適切化を図る事で消費者が求める商品やEC販売力を向上。

## 活動の効果

- 卸・小売流通をショートカットし、系統出荷より安価で販売することが出来るため、利益率の大幅向上。
- 自社管理出来るEC+SNSを導入し、自ら販売する事で経費削減と社員のモチベーションをアップ。
- 持続可能なビジネスモデルを構築し、地域に新たな波及効果をもたらすブランド農法の確立と地域全体の発展に大きく貢献。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

安心して食べられる冷凍野菜をもっと身近に感じてもらえるよう冷凍自販機の導入やFC展開を実行中。今後は、主婦目線での手軽さや流通体系の見直しにより安い送料での購入方法の定着させるため、駅などの販売店へのFC化事業も予定している。

## 住所・電話番号・SNS等

山陽小野田市大字西高泊2055-18 Tel : 0836-39-8423

奨励賞

やまぐちけんりつ すおうおおしまこうとうがっこう

## 山口県立 周防大島高等学校

みんなでつなぐ未来の環 ～周防大島の挑戦～



校内飼育しているニホンアワサンゴ



生徒によるニホンアワサンゴを守るための森林整備



地域循環共生圏づくり協議会

### 経緯

- 内閣府主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募し、複数回にわたり受賞したが、生徒のアイデアが事業化に至らず、地域の多様な関係者と連携し、環境保全と地域経済活性化を実現した持続可能な地域づくりを始める。
- 周防大島南東沖に群生するニホンアワサンゴが大量死したことをきっかけに保護活動を開始。

### 取組内容

- 環境省が実施する「地域循環共生圏事業」において、周防大島高校の活動を軸としてプラットフォームを構築。
- ニホンアワサンゴを守るため、海岸清掃や森林整備を実施し、併せてサンゴの校内飼育にも挑戦、生態を研究。
- 県やJAなどの支援を受けながら島の特産品の「みかん」のPR動画を制作。
- 起業家の支援を受けながら、近海の海水を使用した「塩飴」を開発。

### 活動の効果

- 周防大島高校が進める、島全体を学びの場と考えた「島じゅうキャンパス」の取組は、地域経済循環の視点から有用であると島内外から認められ、地域金融機関グループ会社YMFG ZONEプランニングを活動団体とし、周防大島高等学校の活動を軸としたプラットフォームを構築。持続可能な地域づくりに貢献。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

本校の取組は、ホームページ内のTopicsやYouTubeにて紹介しています。ぜひ御覧ください。

住所・電話番号・SNS等

大島郡周防大島町西安下庄489

二次元バーコード



URL:<https://www.suo-oshima-h.ysn21.jp/>

記念賞  
応募はぎしよくひんきょうどうくみあい  
ふるさと萩食品協同組合

～交流拠点「道の駅」から広がる地域連携～



地域の学校と連携した人材育成支援



発展途上国からの研修生受入

## 取組内容

○漁協や鮮魚仲買等が協力して「道の駅・萩しーまーと」を設置・運営するため、平成11年(1999年)、設立。平成21年(2009年)、一部の魚種が正當に評価されていないのは「もったいない」との観点から、プロジェクトを立ち上げ。地元の低利用魚種の利用価値を発見し、メディア等を通じ魅力をアピール。

## 前回選定後の情報発信の取組

- マスコミやSNSで1年を通して萩の地魚情報を発信。地元CVTVで、毎日5分間地魚を紹介する番組出演を18年間継続する他、『ブックレット萩沖の魚たち』を発行し萩沖の沿岸生態系の情報を発信。
- 令和3年(2021年)に発行された雑誌「日経トレンディ」、未来をつくるSDGsマガジン「ソトコト」で「道の駅しーまーと」が紹介される。
- 前回選定以降も、多数メディアで紹介。

## 前回選定後に発展させた取組及び成果

○コロナ禍を機に水産関係者だけでなく日本酒の蔵元や飲食店、宿泊施設も加わり、業種の枠を超えた地場産業の再興を目的とした「GI萩キャンペーン」を開催し、その様子をNHK山口放送局が密着取材し県内全域に放送される。また、豊かな自然環境を次世代に継承するため、水産資源を大切に考え行動できる人材育成に向けて地元小中学校、高校生を対象に道の駅スタッフによる講義や鮮魚店で魚の販売や捌き方体験を開催するとともに、発展途上国から生活水準向上のための研修生受入を実施。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

平成23年(2011年)には、山口県初、水産関係でも全国で初めて地産地消優良活動表彰で最高賞の「農林水産大臣賞(交流促進部門)」を受賞。平成29年(2017年)6月に30代(当時)女性を駅長に登用し女性の社会経済活動参画に努めている。

## 住所・電話番号・SNS等

萩市椿東4160-61 電話:0838-24-4937 HP:<http://seamart.axis.or.jp/>

記念賞  
応募しゃかいふくしほうじん いーじーえふ  
社会福祉法人E.G.F

～小さな力を結集し、地域の農業を支える～



カット野菜製造の様子



提携農家からの収穫依頼



学校栄養士等の視察受入

## 取組内容

- メロン、イチゴ、野菜の苗作りから収穫、加工まで、障がい者の特性を農作業に活かし、持続可能な農業を確立。
- 冷凍ボイルカット野菜を製造し、主に山口県学校給食会へ販売し、県内ほぼ全ての小・中学校で使用されている。

## 前回選定後の情報発信の取組

- 選定前から県内初のノウフク連携事業所として、月1回平均で視察受け入れしていたが、選定後さらに増加し、議員団やJA関係者、刑務所、少年院、民間社会福祉関係者など100件を超える視察や、研究機関、法人協会、大学関係などから取材を受ける。また、行政機関や教育機関、法務機関から延べ30回の講演依頼を受ける。

## 前回選定後に発展させた取組及び成果

- 農事組合法人と当法人で『ノウフク連携協議会』を組織し、地域特産野菜を活かした冷凍ボイルカット野菜工場を建設。カット野菜は山口県学校給食会に納品。障がい者福祉事業であるため製品の安心・安全も担保されていることから、価格が高めでも発注が多く、現在は需要に供給が追いつかない状況。地域農家は廃棄していた規格外野菜が納品でき収入が増加。また、当法人の障がい者が規格外野菜を収穫に行くことで農家は片づけをする手間が減少。生産者はロスが無くなり、当法人は安価で原材料が手に入り、給食会は安心・安全な山口県産カット野菜が供給できるため『三方良し』の関係が形成されている。また各学校の栄養士との意見交換を行い、現場のニーズを吸い上げ新商品の開発（山口県産トマトのホールカット）につながり、生産するとすぐに売り切れる人気商品となった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

弱い力を集め、大きな力とし、衰退していく産業を支えていく。世の中から少なからず疎まれていた彼らが、必要不可欠な人材となる可能性があります。『この世に無駄な人間はいない』農業・商業・福祉がしっかりと連携すればそんな世の中の実現も可能だと思います。

## 住所・電話番号・SNS等

萩市大字下小川1000 電話:0838-74-5838 HP: <https://e-g-f.jp/>

記念賞  
応募

かぶしきがいしゃせとうち

## 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン

～「農」を核とした関係人口・地域産業造り～



特命農業部員によるレモンの植樹



古民家農泊施設「レモンの宿」

## 取組内容

- 平成19年(2007年)瀬戸内の島で6次産業型ジャム屋を1ターンにて起業。連携農家での加工用果実栽培と高価買取により経済循環を促す。
- 耕作放棄地を解消し、レモンを植樹。収穫したレモンを使用し、リキュールを製造販売。
- 障がい者施設と連携し、働く場を提供。
- 古民家を再生し、農泊施設を整備。

## 前回選定後の情報発信の取組

- 選定直後、周防大島橋が貨物船衝突により被災。さらにその後の新型コロナウイルス感染症渦などの外部要因を受け、選定による効果を有効活用するタイミングを逃す。
- 一方、外部要因の影響を受けにくいWEBでの情報発信により、インスタフォロワー増加、Googleマップ評価者増加と、選定の効果あり。

## 前回選定後に発展させた取組及び成果

- 令和2年(2020年)、レモンチェッコプロジェクトを開始。周防大島町がリキュール特区に追加認定されことから酒造免許を取得。クラウドファンディングで特命農業部員を獲得し、集めた資金で酒造設備を整え、レモンチェッコを開発。部員とともに耕作放棄地を再生し、レモン畑を整備。
- 令和4年(2022年)、江戸時代に島に柑橘栽培を伝えた旧庄屋の古民家を改築し農泊可能な「レモン畑の宿」を整備。地域内の飲食店や宿泊施設などと連携した「島が一つのホテル」として経済と人の循環を生んでいく取組を進める。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

「農」を核に、地域と長期に関り続けていく仕組みづくりを目指し、事業構築しています。魅力あふれる周防大島へ皆さん是非お越し下さい。

住所・電話番号・SNS等

周防大島町日前331-8 TEL:0820-73-0002

瀬戸内ジャムズガーデンHP →



